

令和2年度第4回横浜市男女共同参画審議会 会議録（要約版）	
日時	令和3年2月26日（金）11時～12時
開催場所	オンライン開催
出席者 （五十音順）	江原会長、小山内委員、川島委員、坂本委員、佐藤委員、塚原委員、檜垣委員、柳田委員（計8名）
欠席者 （五十音順）	菊地委員、茂田委員、堀本委員、望月委員、吉永委員（計5名）
開催形態	公開（傍聴者なし）
議題等	議 事 1 第5次横浜市男女共同参画行動計画（素案）パブリックコメント実施結果について（報告） 2 第5次横浜市男女共同参画行動計画原案（案）概要について
決定事項	本日の議事内容を踏まえて、第5次横浜市男女共同参画行動計画原案（案）を確定する旨、決定
議事1 第5次横浜市男女共同参画行動計画（素案）パブリックコメント実施結果について（報告）	
議事2 第5次横浜市男女共同参画行動計画原案（案）概要について	
事務局	パブリックコメント実施結果について及び原案（案）概要について、説明（資料1～3）
柳田委員	パブリックコメントで、10代からのご意見、どのようなものがあつたのかご紹介下さい。
事務局	小学生からの声として、男の子だから我慢しなさいといわれて嫌な気持ちになったことがあつたとか、両親の離婚に伴って会えないことについて相談がありました。 高校生からは、本計画への応援メッセージや、大学生から、授業でジェンダーのことについて学ぶ機会があり良かったという意見や、もっと早くジェンダーについて知りたかつたというような、前向きな意見がありました。 また、女性が家事・育児という社会の風潮に対しての反対意見や、性的少数者に対する話も多く、世代による理解の差はどうか、また、テレビ等メディアで取り上げられて身近に感じられるようになったという話もありました。
川島委員	パブリックコメントの回答者に男性が増えたということは素晴らしいと思います。こういうものに対しては、男性からの意見を集めることは難しく、横浜市でも以前は女性からが圧倒的に多かつたと思います。男性からの意見の事例を教えてください。
事務局	計画全体が女性に寄りすぎているのではないかというご意見のほか、家事・育児に対する意見が多かつたです。 先ほど、資料2にて、主な修正内容を説明しましたが、施策8の内容に「家事・育児」だけでなく「介護」を入れてほしい、仕事も育児も介護もしている男性も多いという意見や、妻からのDVについて訴える意見も複数ありました。 男性からの意見が特に多いということではありませんが、企業で女性の力が十分に発揮されていないという、働く環境へのご意見も見られました。

	<p>男子大学生の意見として、高校までにジェンダーを学ぶ機会がなかったとか、男性であるがゆえに、力仕事ができないといけない、家計を支えなければいけないという考え方にプレッシャーを感じているという意見もありました。</p> <p>また、男性に限りませんが、育休についても複数意見がみられ、このような計画が進むと良いというご賛同いただきました。</p>
江原会長	<p>先ほど事務局から資料2にて、説明があったのは、施策等に反映したものということですね。修正して原案に反映されたものについてはご説明があったのですが、「今後の参考とさせていただくもの」72.3%は、どのような意見なのでしょう。</p>
事務局	<p>最も多いのは、計画を推進するにあたり、具体的な取組の参考とさせていただくご意見です。個人の置かれた状況や悩みを踏まえたご意見も多くありました。原案の記載内容には直接反映しませんが、今後、行動計画に基づいた取組を推進していくにあたり、ニーズの把握や、対象者の考え方、連携していく相手方の検討などに今回頂いたご意見を活かしていきたいと思えます。</p> <p>また、原案に反映できない意見として、国の制度改正や新たな制度の創設を求めもの、法改正されないとできないもの、学校教育での義務付けを求める等の意見もありました。</p>
江原会長	<p>非常に個別具体的なため実際に施策を実施するとき参考になるもの、逆に、法改正などが必要になってくる、市の計画としては反映することができない、というものがここに含まれているということですね。</p>
佐藤委員	<p>「対応分類」で「今後の参考とさせていただく」という表現だけだとそれに該当する意見が多すぎ、せっかく積極的に多くの意見を寄せていただいたのに取り上げてもらえなかったという印象になってしまう恐れがあると思えます。</p> <p>先ほどの説明では、実施計画をするときに参考にできるもの、国の制度改正を求めているのでこの計画に反映するのは計画の趣旨に添わないというものが含まれているということでしたので、せっかく多くの方からご意見をいただいているので、ちゃんと届いていますよ、参考にしますよ、が伝わるような表現にした方がよいと感じました。</p>
事務局	<p>ご意見ありがとうございます。表現については検討させていただきたいと思えます。</p>
江原会長	<p>確かにこのままですと72.3%の意見への対応表現が十分ではないので、検討をお願いします。</p>
柳田委員	<p>子どもへの性暴力についてですが、女兒だけでなく男児に対しても頻発していて、その問題は人生の長い期間、影響与える深刻な問題です。</p> <p>計画の中では、61頁の「教育における男女共同参画の推進と若い世代の理解促進」で、小学生対応で「小学生向け男女共同参画補助教材『どうして分けるの』の活用」の記載があるのですが、幼児に対する言及がありません。</p> <p>横浜市としては、保育所や幼稚園への対応もあり、その問題を今から急に何か深めるということとはできないかもしれませんが、このような視点を男女共同参画計画に入れることができると、幼い頃からそのような教育を行っていくという視点を大人が持つということになります。今、社会で起きている大きな問題ですので、計画の中のどこかに入っていればよいと思えます。</p>

江原会長	<p>子どもの性に係る人権は大きな問題で、決して無視できない領域だと思うのですが、大変、取り扱いが難しい。</p> <p>柳田委員からのご指摘のとおり、教育という分野で対応していくということだと思うのですが、今、計画の原案の中でそういった展開ができるような記載がすでにあるのかどうか、まず、確認させていただきたいと思います。そのうえで、皆様についてどうかお考えかをご意見をお聞きしたいと思います。</p>
事務局	<p>柳田委員からのご指摘は、原案の 61 頁の「教育における男女共同参画の推進と若い世代の理解促進」に記載されている内容では、「小学生向け」と記載があり、幼児への対応は読み取れないということです。</p> <p>大変、重要なご指摘と思います。保育所等で一律に扱うことはなかなか難しいと思いますが、原案では若い世代としか書いてないので、例えば「子ども」または「幼児や子ども」を加筆する等の調整をした上で、</p> <p>取組や事業については、計画の年次報告で共有していきたいと思います。</p>
檜垣委員	<p>以前、仕事で認可保育園を 2 園設立することに関わってきた経験を共有させて下さい。その中で、各保育園で、保育士さんが性の大切さを子どもがわかるよう、取り組んでいました。</p> <p>また、別の視点で、女の子の保護者から、男性保育士は自分の子の面倒をみないでほしいといわれたことがありました。現場の男性保育士からは、女性保育士だったら男の子でも女の子でも面倒をみても、そのようなことを言われたいのという思いを持ったとのことでした。</p>
江原会長	<p>お子さんの親御さんとか本人からのご意見をうけていくと、性別役割分担が再生産されることにもなりかねないということもありまして、大変苦慮するところだと思います。</p>
小山内委員	<p>幼児を対象とすることについて計画に含めるということは大変良い視点だと思っております。私共の横浜市男女共同参画センターでも、貸出資料の中に海外から取り寄せた性教育に関する絵本があるのですが、それがかなり良く借りられているということもありまして、関心は高まっていることを感じております。</p> <p>一昨年になりますが、内閣府の男女共同参画局長が視察に来られた時に、ぜひ、性教育に力をいれていきたいというお話がありました。国での取組強化を期待しているところなので、今回の行動計画に幼児からというのは非常に良いと思います。</p> <p>また、保育所で男性の保育士が増えることについて、良かったという面も多く聞いております。</p> <p>保育士や保健師も女性職場ではなく、男性が入りやすいような環境も作っていくことが大事ではないかと思いました。</p>
江原会長	<p>この件については反対がないようですので、横浜市の方でお考えいただき、何らかの形で施策が展開しやすいような計画を、原案を作っていただければと思います。</p>
塚原委員	<p>今回、パブリックコメントを募集するにあたって、急遽なのですが、拠点でオンラインによる意見募集を開催いたしました。</p> <p>25 名の参加がありまして、今回の原案に障害の視点を追加していただきました。貴重な声が反映されたということで、今後も声を上げづらい、狭間の声を吸い上げるような計画になればと思っています。</p>

	<p>今後、この計画のPDCAサイクルにあたっては、この計画をどうやって浸透させていくのか、行政を中心に協働しながら、オンラインも利用して広く声を集めていくという視点が大切と思っています。</p> <p>若い世代には学校教育が大切という声、子育て世代には上がっていますので、計画で文章化されることで、資金を獲得できたり、活動が広がっていくと思います。</p>
江原会長	<p>計画の策定のときだけでなく、それをどうやって進めていくかということでも、市民の方の意見を十分に聞くということで、オンライン開催を含めて今後とも行っていただきたいと思っています。</p>
倉田委員	<p>塚原委員が関わっている拠点のネットワークで、オンライン開催をしていただきまして、先ほどのご意見については、まさしく、その場で当事者の方からいただいた意見です。それ以外にも、もう一つ、大学生をネットワークしている中間支援組織のNPOも素案に対するオンライン意見募集を開催していただきまして、若い方や男性のご意見が集まったということがあります。</p>
江原会長	<p>今のご説明でパブリックコメントが増えた理由がみえたかなと思います。良いことだと思いますので、今後もこういったことを利用して、広く皆様に、こういう計画があるということをご理解いただくよう周知徹底していただきたいと思っています。</p>
坂本委員	<p>今回、パブリックコメントの数が増えたということは非常に喜ばしいことだと思います。一方、おそらくは、外国人住民の方からのコメントは限られていたことと思います。今、10万人を超えている外国人の方がいらっしゃいますので、声を拾っていくことを考えますと、今後、パブリックコメントを行うなかで多言語化の検討もやっていただくと有り難いです。</p> <p>また多言語について、大多数の外国人の方の母国語が英語ではないことを踏まえると、「やさしい日本語」、簡易な分かりやすい日本語というものもあるので、今後の検討の一つとしてお考えいただきたい。</p>
江原会長	<p>事務局の方で外国につながる人に対して、どのような形で原案ができていますでしょうか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントで、視覚障害の方への対応として、読み上げ機能に対応するテキストベースでホームページに掲載してほしいという意見をいただき、その方向で予定しています。あわせて、外国人及び知的障害等のある方も含めて、やさしい日本語版も検討していたところです。4次計画の時は、6か国語で作成したのですが、あまり活用できなかったということがありまして、坂本委員のお話からも、英語とやさしい日本語の2本立てで行っていくのがよさそうですね、ありがとうございます。</p>
江原会長	<p>多言語化ということはよく言われますが、英語を母国語としない方が増えていますので、やさしい日本語とした方が、みなさんに伝わりやすいということもあって伺いました。</p> <p>横浜市は、坂本委員のお話の方向で進めていくということになりますね。</p> <p>パブリックコメントからいただいたものをどう原案に繋げていくかということで、他にご意見あればお願いします。</p>

各委員	<意見なし>
江原会長	よろしければ、本日いただいたご意見は、必要に応じて原案に反映し、また、計画の推進に活かしていきたいと思いますが、原案の確定につきましては、私と事務局の確認に一任していただければと思いますが、いかがでしょうか。
各委員	<異議なし>